

標準インターフェイスに係る検討状況及び予定

消防庁防災情報室

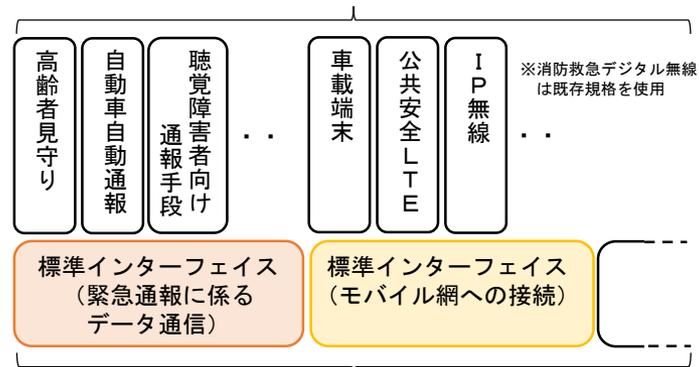
令和3年7月19日

標準インターフェイスに係る検討状況及び予定

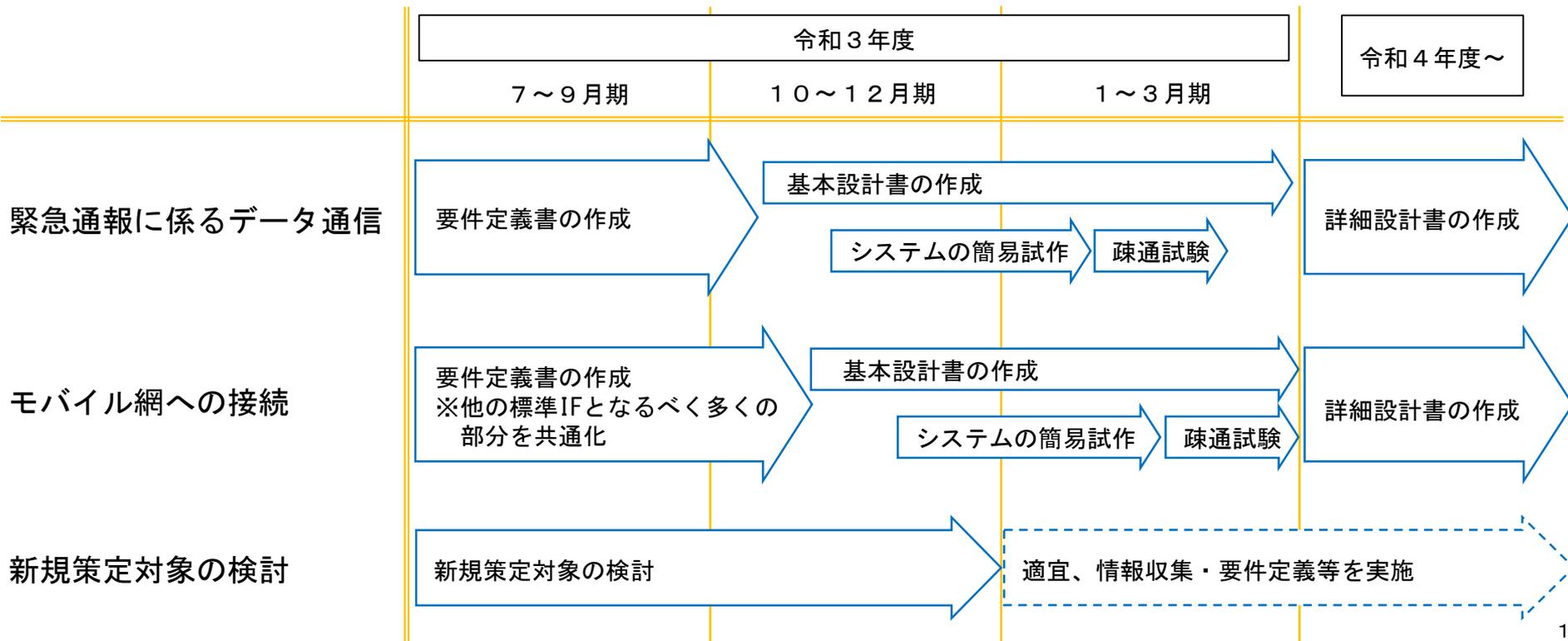
検討方針（第2回会合資料より抜粋）

- 接続先のシステムを大きなグループに分け、グループ毎に標準インターフェイスを設計。
（例：「緊急通報に係るデータ通信」でまとめる）
- 様々なデータの種類や接続タイミングを想定して設計。
- 十分な情報セキュリティが確保されるよう、接続するネットワークも含めて検討。
- 指令員の業務煩雑化防止や中間更新時の導入などにも留意。

接続先システム毎の個別のインターフェイスにはしない
（標準インターフェイスの使い方の凡例は示す想定）



大きなグループ毎に標準インターフェイスを設計

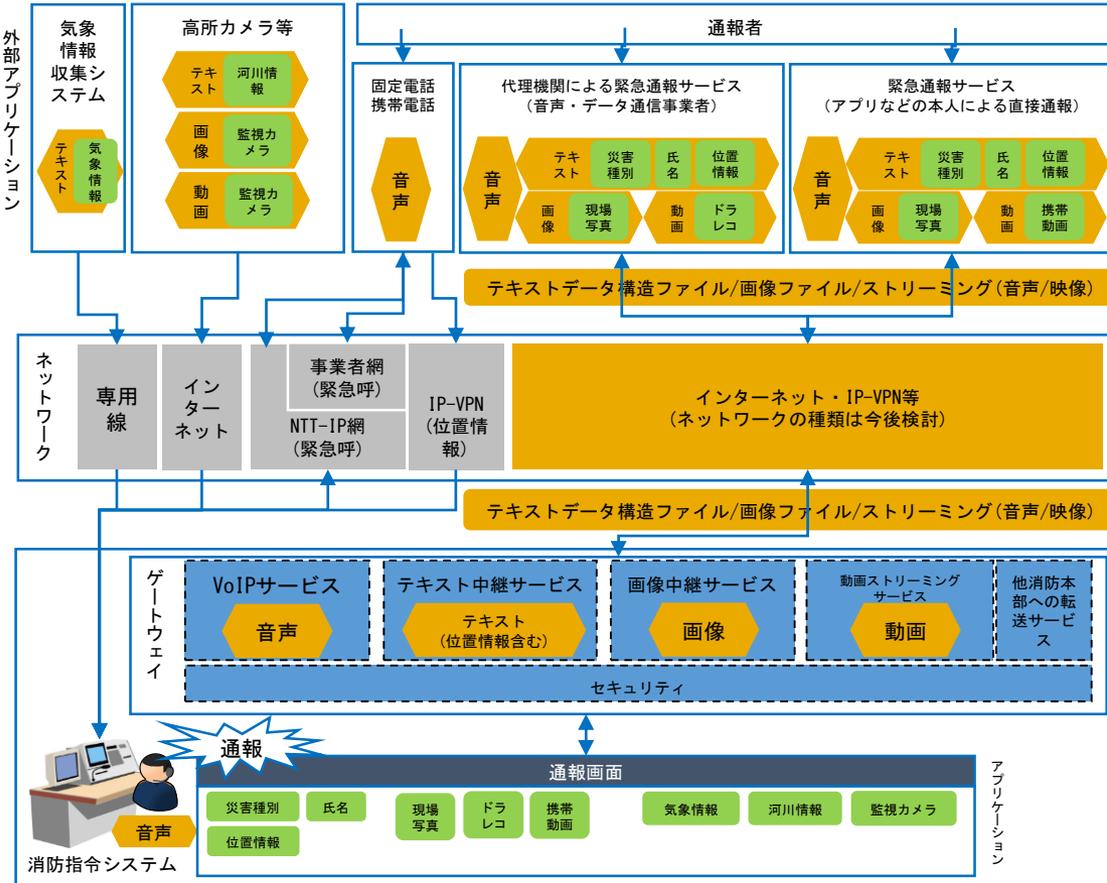


標準インターフェイス（緊急通報に係るデータ通信）の概要

前回会合資料を一部改変

- 「緊急通報に係るデータ通信」の標準インターフェイスを対象に、要件定義を実施。
- 通報サービスは多様であるが、送受信されるデータの種類の種類に着目すると共通する部分が多い。そのため、データ通信による各種データの種類の種類や形式、ネットワーク等について、共通のデータ連携方式を検討。
- 指令システムとデータをやり取りする部分（ゲートウェイ）の要件を検討。

「緊急通報に係るデータ通信」標準インターフェイスの利用イメージ



データ連携方式

メディア データ形式 ネットワーク

- 消防指令システムで取り扱う「メディア」（音声、テキスト、画像、映像）ごとの取り決めを定義
 - (例) ・音声・動画は、データ自体を暗号化してリアルタイムで送受信
 - ・メディア形式は標準規格を採用 (例:画像/jpeg、映像/H264、音声:/G. 711)
 - ・共通項目の書式を定義(メールアドレス、位置情報、日付など)
- 外部システムとデータ通信する形式について定義
 - (例) ・データのやり取り(呼び制御/メッセージ)は、標準規格を利用するほか、通信内容を暗号化
 - ・メッセージの内容自体も、標準規格を利用して送受信
- ネットワークの種別に合わせた通信方法を定義
 - ・詳細は今後検討だが、現時点では具体例としてインターネットの利用を想定して記載 (TLS1. 2+VPNによる通信経路の秘匿化等)

ゲートウェイの機能要件・非機能要件

サービス

- ゲートウェイに必要な各種機能を定義
 - (例) ・通報者から送信された通知情報、位置情報、画像等を指令システムへ送信
 - ・通報者、指令システム双方の音声データ中継し、リアルタイム通話を実施
 - ・管轄外の通報を管轄消防本部へ転送
- ゲートウェイに必要な非機能要件を定義
 - ・消防指令システムと同程度の水準を想定

アプリケーション

コンテンツ 通報画面 (UI)

- アプリケーションの概要等を定義
 - ・アプリケーションの共通的な部分について、一般的な業務フロー、簡単なユーザーインターフェイス画面例、コンテンツの参考情報等を記載 (次年度以降、継続検討)
 - ・具体的な接続ケースとして、既存サービスである高齢者見守りサービスと自動車自動通報サービスを例に凡例を作成